

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

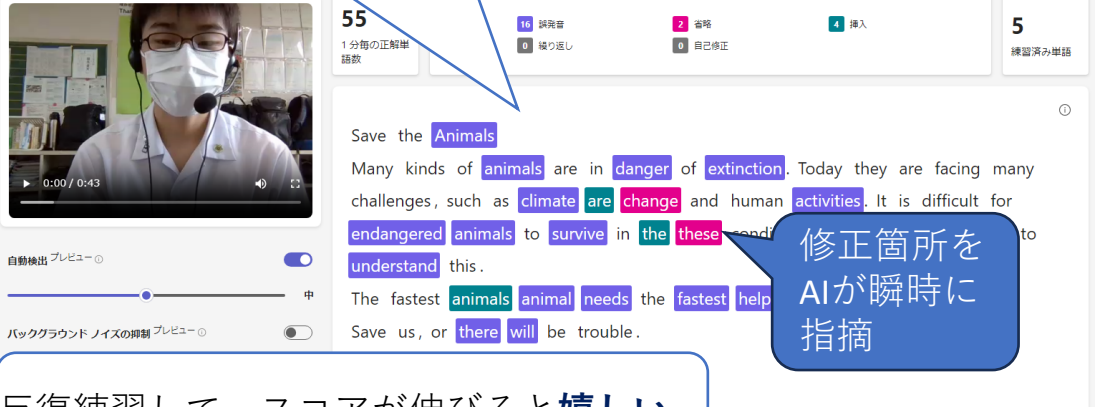
Teams「AI音読の練習」を活用して、一人ひとりのスピーキング練習を効率化

【中学校英語】 全学年

「リピート・アフター・ミー」は、英語学習におけるスピーキング練習の定番であるが、時間の制約もあり、授業で教師が生徒一人ひとりの発音を指導したり、評価したりすることは難しかった。

しかし、Microsoft「Teams for Education」の「AI音読の練習」機能を利用することで、授業の最初や最後に短時間で実施でき、宿題にもできる。生徒自身もAIがすぐに修正箇所や評価(正解率)を示してくれるので、個々の能力に応じて**効率的かつ継続的にスピーキング練習**をすることができるようになった。結果は、クラウドに保存されるため、教師は生徒一人ひとりの**習得状況や伸びを把握**しやすくなった。

発音の間違いや読み飛ばしなど、修正箇所がよく分かる。



反復練習して、スコアが伸びると嬉しい。



【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

【中学校保体】 全学年 GIGA端末のカメラ機能を活用した学び合い

- 【動画活用のメリット】
- ①GIGA端末で撮影した動画は、繰り返し見ることができる。
 - ②ゆっくり再生したり、止めたりできるため、コツを見つけやすい。
 - ③クラウドに保存された動画やアドバイスは、教師の授業改善や評価にも役立つ。

▼「マット運動」
倒立前転のコツをつかめ



撮影

自分で振り返る



学び合い

話し合う



付箋にアドバイスを記入



指摘し合う



▼「バレーボール」
スパイクのコツをつかめ



GIGA端末で動画撮影

手本を見る



○コツの共有ー学び合いー

互いに映像を見て、良い点、修正点等を指摘し合う。その中でコツが見つかる。コツがつかめているか、自分や他者の演技を確かめる。



できたかも！

再挑戦



アドバイスをもとに再挑戦

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校

【取組内容②】 アメリカ大学生とのオンライン交流学習

【中学校総合的な学習】 2年 高速ネットワーク環境を活用した海外との交流

日本文化に興味のあるアメリカの大学生が協力



ブレイクアウトルームでグループごとに分かれてお互いに自己紹介。そして、フリートーク



海外の大学生とウェブ会議ソフトでオンライン交流

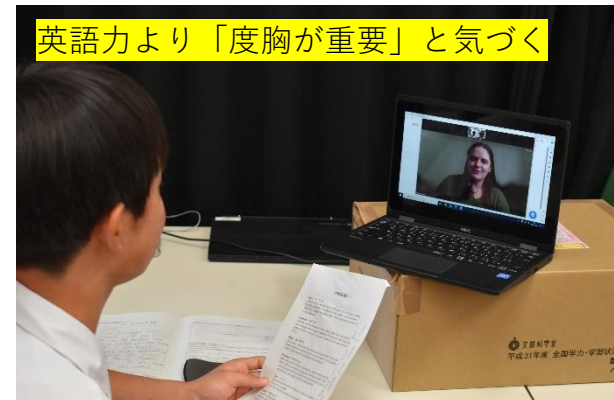
アメリカ・ロチェスター工科大学の大学生とオンラインでリアルタイムに交流。その目的は、以下の3点である。

- ①視野の拡大
- ②英語によるコミュニケーション能力の向上
- ③郷土香川や日本のこと、自分自身を分かりやすく伝えようと準備することを通して、情報活用能力の育成を図ること

高速ネットワーク環境により、オンライン交流が可能となった。

また、交流相手がネット環境に慣れた大学生であり、少々の時差にも対応してくれたことは、重要なポイントであった。

英語力より「度胸が重要」と気づく



【取組内容③】 教育情報を活用した不登校対策・自殺予防

Formsのアンケート機能を活用した「情動アンケート」による生徒支援

本校では、1学期から、Formsで作成した情動アンケート「今日のわたし」を活用している。

①目的

- (ア)生徒一人ひとりの心身の変化を把握し、状況に応じて、早期に、予防的に対処する。
- (イ)生徒の自己管理能力の向上に役立てる。
- ※一番の目的は、生徒の心情面（喜び・悲しみ・不安・怒りなど）の変化をとらえること。ゲートキーパーの一つでもある。

②入力方法

毎朝、各自がGIGA端末で入力（夏休みも実施）した。

③質問内容

体調面（体調・体温）と心情面（気分・今日の一言）の質問で構成している。

④入力内容確認者

管理職・養護教諭は、必ず。担任は、随時。

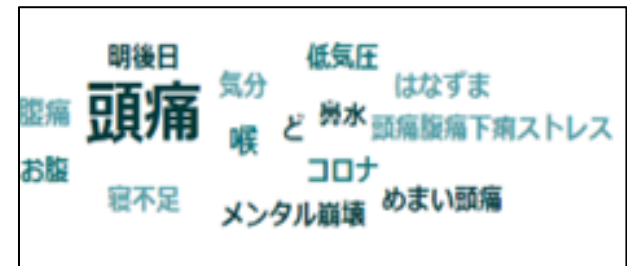
<これまでの実践から>

- ・毎日、不調を表明し、「メンタル崩壊」「ストレス」など、負のメンタルワードを記入する生徒に声かけをするなど、これまで見えなかった生徒の内面に、早めに、さりげなく対応できる。
- ・近親者喪失など、家庭環境が激変した生徒の継続的な見守りに活用。特に、夏休み中は有効であった。
- ・一言コメントを毎日記入する生徒もあり、先生とつながっている安心感も提供している。

▼「今日のわたし」の入力



▼テキストマイニング機能による分析



リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校

【取組内容④】 実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組

「公開」と「配信」による実践内容の普及～「一人の百歩より百人の一步」の精神で～

普及に向けた挑戦！

- 午後の研究授業と討議だけでなく、午前中の授業も**すべて公開**
- 終日、ネットで地域内外に**配信**

高松市総合教育センターとオンラインで結び、GIGA端末活用についてオンライン研修を実施。

4月19日（水）
オンライン研修



8月1日（火）
小中合同研修



講師を招いての小中合同研修会も市内小中学校へ配信。



6月14日（水）
第1回公開研究会



10月11日（水）
第2回公開研究会



研究日の午前中は、全員が授業を公開することとした。公開を続けることで、生徒の学びが深まり、伸びを全教職員で共通理解することができた。